



4月12日、扇芳閣の谷口優太社長、大女将の谷口正子さん、女将の谷口志津加さんが市長室を訪れ、図書館の充実にと100万円を寄附していただきました。

同社は昭和59年から谷口文庫を設立し、毎年図書購入費を寄附しており、谷口優太社長は「今回の寄附金も子育て世代のご家族への支援や教育環境の向上に役立てていただけたらと思います」と思いを話してくれました。

中村市長は「思いに沿う形で有効に使わせていただきます」と感謝を述べました。

## 扇芳閣から寄附をいただきました



4月3日、地域おこし協力隊として京都大学文学部を3月に卒業した三好美咲さんが就任しました。今後は、答志島で子どもたちの教育環境の充実や離島での生活の魅力が向上するよう、交流の拠点(ねやこや)の運営を行っていきます。

あいさつの中で三好さんは「臨床心理について大学で学んできたことを活かし、教育環境の充実を図りたい」と抱負を話してくれました。

ねやこやでの活動は、Instagramで発信されていますので、ぜひご覧ください。



## 答志島に新たな地域おこし協力隊が就任



宿泊事業所で働いているみなさんにインタビューを行い、電子パンフレット「鳥羽市リゾートワーク『私、宿で働きます!』～お客様の笑顔のためのジョブプライド～」を作成しました。市では、市内事業所の人手不足解消と活性化に向けた就労の促進と求職者への多様な働き方を提案するなどの雇用対策を行っています。

「宿泊業を選んだ理由」や「実際の仕事の内容」、「仕事のやりがい」、また「休日の過ごし方」など、宿で働く先輩たちのリアルな声を紹介しています。



## 市内の宿泊施設の仕事紹介「私、宿で働きます!」



鳥羽商工会議所かもめホールで4月6日、新卒就職者激励会が4年ぶりに開催され市内事業所などに就職した50人が出席しました。

式典では、鳥羽商工会議所の中村正人会頭から参加者へ「地域の未来を担う貴重な人材として、地域に誇りを持ち、存分に能力を発揮していただき、鳥羽市の元気の源になっていただきたい」と激励の言葉が贈られました。

## 新たな世代へ激励